

令和4年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市スポーツ協会	
設立年月日	平成2年4月1日	
団体の設立目的・沿革	<p>設立目的 当協会は、すべての人々が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康づくりができるスポーツ社会を基本理念に、神戸市におけるスポーツの普及及び競技力の向上を図るとともに、教育・健康増進に関する事業を行い、もって市民の健全な心身の発達及び保持に寄与することを目的とする。</p> <p>沿革 昭和22年12月に任意団体「神戸市体育協会」として発足 平成2年4月に財団法人認可 平成10年10月に(財)神戸市スポーツ教育公社と統合 平成24年4月に公益財団法人に移行及び「神戸市スポーツ教育協会」に名称変更 令和元年7月に「神戸市スポーツ協会」に名称変更し現在に至る。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管課
	市民スポーツ振興事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	スポーツ・教育施設運営事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	スポーツ・教育施設収益事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	施設附帯等事業	自主事業
代表者	会長 澤松 忠幸	

役職員数 (令和3年7月1日時点)	評議員、理事		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		13	13
市派遣職員	1	1	-	-		6	8
市OB職員	1	-	-	-	15		16
その他	-	28	-	2	34	7	71
合計	2	29	-	2	49	26	108

財務状況(単位:百万円)	令和2年度	令和元年度	差引
経常損益	△ 141	50	△ 191
当期正味財産増減額	△ 147	△ 20	△ 127
流動資産	383	586	△ 203
流動負債	137	203	△ 66
長期借入金(固定負債)	0	0	0
期末現金預金残高	314	525	△211

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	スポーツ振興及び市民の健全な心身の発達・保持という定款の目的を着実に遂行するための KPI による事業の実施と検証
ミッション②	自律した事業運営に向けた財政基盤の強化
ミッション③	中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり

■短期的なミッション（令和4年度のミッション）

ミッション①	次期中期経営計画の策定（令和5～9年度）
ミッション②	事業内容の点検・見直しと公益事業の安定的な実施
ミッション③	多様な採用形態や外部人材の活用と配置計画の策定
ミッション④	内部監査機能等の充実によるガバナンス強化
ミッション⑤	加盟団体との効果的な連携体制の強化によるスポーツ振興
ミッション⑥	市スポーツ施設等における管理運営の質の向上と、スポーツ実施機会の増加

■経営指標（令和2年度）

経営指標				令和元年度	令和2年度	前年度比増減
人的パフォーマンス	職員一人あたり純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲ 0.467	▲ 3.577	-3.1ポイント
	経常費用人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	15.45%	22.39%	6.9ポイント
財政的パフォーマンス	総資本経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	3.68%	-12.34%	-16.0ポイント
	流動資産回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	282.81%	261.55%	-21.3ポイント
財政安定性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	289.02%	279.28%	-9.7ポイント
	自己資本比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	79.70%	81.40%	1.7ポイント
持続性	自己資本当期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	-1.87%	-15.81%	-13.9ポイント
	純資産増加率	(当期純資産-前期純資産) / 当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	-1.87%	-15.81%	-13.9ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和4年度			令和5年度			令和6年度			令和7年度～				
中長期的ミッション														
スポーツ振興及び市民の健全な心身の発達・保持という定款の目的を着実に遂行するための KPI による事業の実施と検証	現計画の達成状況確認		次期中期経営計画策定					前年度の達成状況確認、当該年度の事業実施に反映		(令和7年度) 令和5～6年度の達成状況確認し、計画の修正及びKPIの見直し  (令和8～9年度) 前年度の達成状況確認、当該年度の事業実施に反映				
自律した事業運営に向けた財政基盤の強化	自主事業の料金改定の検討 事業見直しの実施			自主事業の料金を改定 事業見直しの実施			事業見直しの実施			収支構造の改善				
中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり	固有職員の係長級への登用  共同事業者の構成の見直し			人事配置計画			人事配置計画			(令和7年度～) 人事配置計画				
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
短期的ミッション														
次期中期経営計画の策定 (令和5～9年度)				現中期経営計画の検証・事業見直し準備(指定管理者応募書類の作成)			次期中期経営計画策定							
事業内容の点検・見直しと公益事業の安定的な実施	事業見直しの候補の洗い出し			候補の通知			見直し会議		事業見直しを踏まえた予算要求及び編成					
多様な採用形態や外部人材の活用と配置計画の策定	固有職員の係長級への登用		人材配置計画の検討											
内部監査機能等の充実によるガバナンス強化	監事監査規程の整備		監事監査		契約事務規則の整備			現金監査		自主監査		施設監査		
加盟団体との効果的な連携体制の強化によるスポーツ振興	市民体育大会での意見交換		市総合スポーツ大会説明会・意見交換		新競技種目の教室開催		加盟団体連絡会(ガバナンス関連含む)、意見交換		新競技種目の教室開催		市総合スポーツ大会での意見交換		新競技種目の教室開催	
加盟団体によるスポーツ団体ガバナンスコードチェックシートの自己説明及び公表支援														
市スポーツ施設等における管理運営の質の向上と、スポーツ実施機会の増加				秋季スポーツ教室申込のICT化・キャンセル待ちの導入										
館長会議(毎月第2火曜日)、施設職員への研修														

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標</p> <p>(できるだけ達成度を表す数値目標も記載)</p>	<p>定款に掲げた目的に基づき、かつ、神戸市スポーツ推進計画の理念実現を目指して、市民へのスポーツの普及及びスポーツによる市民の健康の増進、競技団体への支援・連携体制の強化及びそれらの実現のための協会の財務体質の安定・強化並びに協会人材の育成、外部人材の活用に取り組む。</p>
	1. 市民へのスポーツの普及及びスポーツによる市民の健康の増進のため、	
	①市民のスポーツ参加への裾野を広げるイベント開催やスポーツ教室の申し込み方法のICT化によるスポーツ協会関連事業の参加者数の令和3年度比25%増を目標に取り組む。	
	②あじさいネットの有効活用（利用者への使い方支援）による指定管理施設（地区体育館）利用率96%以上を目標に取り組む。	
	2. 競技団体への支援及び連携体制の強化のため、	
	①加盟団体（43団体）のガバナンスコード作成及び公表支援	
	②これまで年1回の開催であった加盟団体との意見交換会を少なくとも年2回開催するなど、意見交換機会100%増を目標に取り組む。	
	③加盟団体との連携強化により、新たな種目の体験会を開催するなど様々な競技の普及・啓発を図るとともに、スポ協つうしんにおいて加盟団体に関する掲載内容を充実し、広く市民にスポーツ参加できる機会の情報提供を行う。	
	3. 協会の財務体質の安定・強化のため、	
	①駐車場やスポーツ教室等の自主事業の利益によって経常的なスポーツ振興事業を実施し、ワールド記念ホールの収益は、競技団体への還元や新規事業の実施等に充当するような財源構成を目指す。	
そのためには、体育施設及びワールド記念ホールの次期指定管理を確実に獲得した上で、市とのリスク分担を見直すとともに、スポーツ教室等の自主事業の高収益化を図る。		
②六甲シテイマラソン等スポーツイベントの開催時には、企業へ協賛金を求めるなど、外部資金の導入に努める。		
③公益事業比率75%以上、経常比率100%以上の達成を目標とする。		
4. 協会の人的体制の強化・充実のため、		
①長期的な視野に立った雇用形態の整理及び処遇の見直しを行う。 (固有職員の係長級への積極登用、共同事業者の人材の活用、施設長ポストの一般公募の検討)		
②館長会議を月1回開催して情報共有の迅速化及び全館方針の徹底を図り、指定管理施設全館共通の運営の質の向上を図る。		
③市職員に準じた研修及び利用者へのおもてなし等協会独自の研修を実施し、職員の勤労意欲や向上心の喚起、能力や資質の向上を図る。 (職員研修所等外部研修の受講推奨、神戸市派遣職員及び民間講師の招請による独自研修の実施)		

■ 市支援策の活用状況

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （１）中長期的ミッションの達成状況

- ①スポーツ振興及び市民の健全な心身の発達・保持という定款の目的を着実に遂行するためのKPIによる事業の実施と検証
- ・協会の定款に定める目的を着実に遂行するため、4つの基本方針と、KPIとして協会関連事業の参加者数の令和3年度比25%増や計画期間内の経常比率100%以上を数値目標とした第5期中期経営計画（令和5～9年度）を策定。
  - ・協会関連事業参加者数実績 令和3年度：1,329,094人 ⇒ 令和4年度：1,961,452人（47.6%増）
- ②自律した事業運営に向けた財政基盤の強化
- ・公益事業を安定的かつ持続的に行うため、将来の収入減に備えた特定費用準備資金を令和4年度末に積立。令和4年度から令和6年度まで毎年3千万円、計9千万円を積み立て、令和7年度以降に減収した場合に取り崩す予定。
  - ・公益事業比率：73.2% 経常比率：102.2%
- ③中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり
- ・令和4年度に経理担当係長に固有職員を配置。
  - ・令和3年度から管理職・職員の接客スキル向上を目的として外部講師による研修を実施。

### （２）短期的ミッションの達成状況

- ①次期中期経営計画の策定（令和5～9年度）
- ・令和4年度末に策定済み。
- ②事業内容の点検・見直しと公益事業の安定的な実施
- ・各種会議資料のペーパーレス化を実施。
  - ・事業内容の点検・見直しにより情報誌「スポ協つうしん」を廃刊。
  - ・公益事業を安定的かつ持続的に行うため、将来の収入源のリスクに備えた特定費用準備資金の積立を開始。
- ③多様な採用形態や外部人材の活用と配置計画の策定
- ・経理担当係長に固有職員を配置。
  - ・外部コンサルタントへの委託により、職員向け接遇研修、ハラスメント防止研修を実施。
- ④内部監査機能等の充実によるガバナンス強化
- ・令和4年4月に会計規則から契約規則を独立させて制定。
  - ・令和4年7月に監事監査規程を制定。
- ⑤加盟団体との効果的な連携体制の強化によるスポーツ振興
- ・研修会の開催や出張相談などにより全42加盟団体のガバナンスコード公表を完了。
  - ・加盟団体連絡会に加えてスポーツ協会表彰実施時に加盟団体向けコンプライアンス講演会を開催。
  - ・各種体験会の開催による競技の普及啓発や、協会ホームページ内の加盟団体専用ページ開設による情報共有の充実等。
- ⑥市スポーツ施設等における管理運営の質の向上と、スポーツ実施機会の増加
- ・令和4年度地区体育館利用率 東灘:96.2% 須磨:93.6% 垂水:90.2% 西:95.3%（目標96%以上）
  - ・地域スポーツクラブ、近隣大学と連携したパラスポーツ体験会を開催。
  - ・競技団体等と連携したニュースポーツ体験会を開催。
  - ・イニエスタアカデミーの事業への協力。
  - ・スポーツ教室開催実績 令和3年度：186教室 10,772人 ⇒ 令和4年度：204教室 14,827人

### (3) 市政への貢献・市民への還元状況

- ・神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局へ職員1名を派遣。
- ・神戸マラソンへの負担金支出（1,000千円）及びボランティアの動員協力（451名）、関連ランニングイベントの実施。
- ・収益事業で得た収益を、スポーツ振興のための公益事業に還元。令和4年度：38,417千円
- ・協会の自主事業として、女子サッカーの振興のため神戸レディースフットボールセンターを運営。

#### ■外郭団体マネジメント推進本部の評価

##### (1) 総合的意見

- ・経常比率100%の達成や高い流動比率の維持など財務指標について健全な状態を維持しているほか、ニュースポーツ体験会の開催など多様化するスポーツによる様々な市民ニーズに応える取組みを実施したことなど、評価できる部分は多い。
- ・自律した事業運営に向けた財政基盤の強化などについて、中期経営計画（令和5～9年度）に則り、各事業の進捗状況や目標の達成度の検証を通じて事業の着実な推進を図る必要がある。また、職員配置計画の策定がなされていないため、多様な採用形態や外部人材の戦略的な活用も検討したうえで、早急に策定すること。
- ・引き続き、令和5年度の経営改革プランに則り、経営改革を進めること。

##### (2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍で制約がある中、（コロナ禍前の水準まで）事業参加者数を増加させ、経常比率が100%を超えたことは評価できる。</li><li>・公益目的事業の実施については、新たな収益確保等も検討の上、更に多くの市民ニーズに応えることができるよう事業を展開すること。</li></ul>
短期的ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>・コロナ禍により指定管理施設の利用率については目標値を下回る結果となったが、高い水準を維持したことは評価できる。</li></ul>
団体目標	<ul style="list-style-type: none"><li>・上記同様、達成できなかった目標はあるものの、事業内容の点検・見直しや、加盟団体のガバナンスコード公表などの加盟団体との連携等については評価できる。</li></ul>
市への貢献・市民への還元状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・神戸マラソンへの負担金支出といった財政的貢献だけでなく、神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局への職員派遣や神戸マラソンのボランティアの動員協力といった直接的な事業協力に寄与したことを評価する。</li><li>・令和5年度も本市との連携協力体制を維持し、行政課題に一体となって取り組むことを期待する。</li></ul>

##### (3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体       継続的な見直しを要する団体       取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体